

## SDGsへの取り組み

### りゅうぎんグループSDGs宣言

#### 01 金融グループとしての責任

りゅうぎんグループは、グループ連携を通じて円滑に金融仲介機能を発揮するとともに、顧客本位のビジネスモデルを構築・実現し、地域経済の持続的な発展に貢献します。

#### 02 地域社会の持続可能性の確保

りゅうぎんグループは、性別、国籍、障がいの有無、経済的な格差等による不平等をなくし、持続可能な地域社会を実現するため、地域社会の課題解決に向けた施策を継続的に実施します。

#### 03 地球環境保護への貢献

りゅうぎんグループは、地域の持続可能性確保の前提として地球環境の保護が重要との認識のもと、地球温暖化の抑止や自然環境・生態系保護のための活動を積極的に行います。

## 01 地域経済活性化への取り組み



### ◆ 新産業の創出

#### 創業・新事業開拓支援、ファンドによる支援／キャッシュレス化の推進

県内企業7社(沖縄タイムス社ほか)や県内外の起業家支援機関と連携し、沖縄から革新的で競争力のあるベンチャー企業(スタートアップ)の創出・育成を行う「OKINAWA STARTUP PROGRAM」を実施しています。本プログラムの参加企業(チーム)には、琉球銀行および県内外の起業家支援機関がビジネスプラン熟成のメンタリング等を行い、事業化が見込まれる優れたプランに関しては、BORベンチャーファンドからの出資やパートナー企業とのマッチング等のサポートを実施しています。

また、2015年10月より発行を開始した「りゅうぎんVisaデビットカード」の発行枚数は14万枚を突破し(2021年3月末)、2017年1月より取り扱いを開始した「りゅうぎんカード加盟店サービス」の加盟店数は7,000店を突破しました。



「OKINAWA STARTUP PROGRAM」成果発表会

## ◆文化振興

### りゅうぎん紅型デザインコンテスト/りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業

伝統文化支援事業として、紅型デザインの向上を図る「創造的な場」を紅型作家や愛好家に提供することを目的に「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。入賞作品は、琉球銀行がお客さまに配布するカレンダーや通帳、広告物等に幅広く活用されています。

また、琉球銀行創立70周年の記念事業として、600年以上の歴史がある漆芸の技術の伝承を支援することを目的に2019年度より「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」を実施しています。

今後も沖縄の伝統文化の伝承に貢献できるよう、積極的に支援活動を展開してまいります。



第29回 りゅうぎん紅型デザインコンテスト審査会

## 02 地域社会および 職場における平等の確保



## ◆教育支援

### 児童養護施設への出前授業/りゅうぎん海外留学支援事業

地域の養護施設を18歳で卒業する子ども達に、「自立に向けたプログラム」の一環として「銀行手続き講座」を実施しました。

これから社会に巣立っていく子どもたちが自信と希望を持って、職業生活・家庭生活を送ることができるようこれからもサポートしてまいります。

一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団では、返還義務のない奨学金を給付する「りゅうぎん海外留学支援事業」を毎年実施しています。



出前授業



「りゅうぎん海外留学支援事業」2021年度派遣予定者

◆ 地域支援

りゅうぎんユイマール助成会 / 子ども居場所づくりイベント事業助成金 / 18歳で児童養護施設等を卒業する子ども達の応援事業

「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで基金を造成します。これまでの助成件数・金額は1,216件、2億2,474万円となりました。

「りゅうぎんユイマール助成会」は、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、今年度も「18歳で児童養護施設等を卒業する子ども達の応援事業」として、児童養護施設および里親家庭を卒園等し、就学・就職する児童に対して、支援金として一人5万円を贈呈しています。

その他、熊本・九州豪雨により被害にあわれた方々を支援するため、りゅうぎんグループ全体で義援金を贈呈しました。



りゅうぎんユイマール助成金一般公募



子ども居場所づくりイベント事業助成金



18歳で児童養護施設等を卒業する子ども達の応援事業



熊本・九州豪雨被害に対する義援金

◆ 障がい者支援

沖縄のオール・ブリュット常設展示ギャラリー / 全日本仮囲いアートミュージアム

県内特別支援教育関係者を中心に障がい者(児)の創作・表現活動を支援しているアートキャンプ2001の活動基盤づくりの支援として、那覇ポートビル1階、本店営業部内に「沖縄のオール・ブリュット常設展示ギャラリー」をオープンいたしました。

また、旧本店ビルの解体工事の仮囲い(工事防護板)に、全日本仮囲いアートミュージアム「BANK OF THE RYUKYUS GALLALY」をオープンいたしました。

どちらも障がい者のアート作品を広く県民に発信する機会をつくり、社会参加を促進することを目的としています。



沖縄のオール・ブリュット常設展示ギャラリー



全日本仮囲いアートミュージアム

◆ 健康経営

おきなわ健康経営プラス1プロジェクト / 敷地内禁煙・就業時間内禁煙の実施

「生涯現役社会の構築」を目指し内閣府沖縄総合事務局とプロジェクト参画企業が合同で「おきなわ健康経営プラス1の活動」を発足しました。本プロジェクトを通して、健康経営を志向する企業の課題解決に取り組むと同時に、プラス1の活動を通じ県民全体の健康保持増進に貢献してまいります。

全本支店では、公共性の高い地域金融機関として期待される環境を整え、受動喫煙の完全防止を図るため、敷地内禁煙および就業時間内禁煙を実施しております。



# 03 地球環境保護のための 具体的な行動



## ◆二酸化炭素(CO2)の排出抑制

### カーボンオフセット実施/ペーパーレス化推進

特別協賛している、りゅうぎんプレゼンツ「ナイスハートバザールイン石垣島」において、同イベントで排出されるCO2排出量を国内クレジット先より買い取るカーボンオフセットを実施しています。

このカーボンオフセットの実施により、沖縄の環境保護活動を行う団体へ寄付が行われています。

また、会議等の資料を紙の印刷物ではなく、タブレット端末での閲覧や大型モニターへの投影で代替するなど、継続してペーパーレス化を推進しています。



第3回ナイスハートバザールイン石垣島

## ◆地域清掃活動

各営業店では、地域の環境美化のため、清掃ボランティア活動等を積極的にを行っています。

今年度は、桜並木に沿って肥料を撒いていく「桜プロジェクト」への参加や地域の草刈り、清掃活動などを実施しました。

それぞれの地域において、地域の皆さまと協力し合い、地域の環境美化に取り組んでまいります。



名護支店(桜プロジェクト)



国場支店・古波蔵支店(地域 清掃活動)



真嘉比支店・古島支店(地域 清掃活動)



名護支店(名護漁港 清掃活動)